

# かめ

スポット  
CAMERA SPOT

# ら

## 地元の安全食材をどうぞ

2/11

▼第4回長崎街道大村藩宿場まつり

市内をはじめ東彼・島原・鹿島の品質良好な農水産物・食品・工芸品などを一堂に集めてその良さをPRしようと宿場まつりが市民会館駐車場で開催されました。会場では即売会のほかにも、もちまきやちびっこわくわく広場などイベントが盛りだくさん。天候にも恵まれ、約2万人（主催者発表）の人数でにぎわいました。訪れた皆さんは、地元産の安全・安心な食材などを一つひとつ手にとって買い求めています。



## 限りある資源大切に

1/25

▼もったいない大抽選会  
PART II

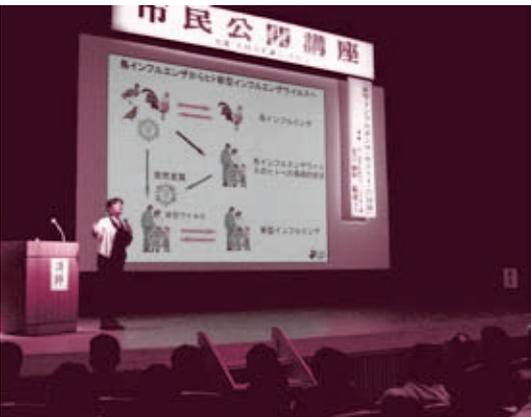


清掃センターに搬入された家具や家庭用品などを展示し、希望者に抽選で再利用していただくもったいない抽選会など、環境にちなんだ多彩な内容のイベントが市コミセンで開催され、多くの皆さんでにぎわいました。またこの日は、大村湾の環境保全のシンボル・希少動物で、昨年市内の海岸に打ち上げられた「スナメリ」のはく製と骨格標本が初披露され、来場者の関心を集めていました。このはく製と骨格標本は、市コミセンに常時展示されています。

## 世界同時流行に備えて

2/1

▼市民公開講座「新型インフルエンザ講演会」



新型インフルエンザ(H5N1)の世界同時流行(パンデミック)の危機に備えるため、国立感染症研究所の岡田晴恵氏を講師に迎えて、さくらホールで市民公開講座が行われました。発生した場合に備えて食品や薬品の備蓄が2か月程度必要なことや、組織的に対応できる体制を整備しておくことの大切さなどの話に、多くの参加者はメモを走らせていました。また、入場できない人がロビーまであふれるなど、関心の高さをもの語っていました。

## ふるさと大村の味を「いただきます!!」

1/28

▼ふれあい給食



1月24日～30日の「学校給食週間」・「地場産品使用推進週間」の行事の一環として、「ふれあい給食」が中央小学校で行われました。この日の献立は、以前は日常的に親しまれていたクジラを使ったごまみそがらめのほか、麦ご飯・のっぺい汁・ホウレン草の和え物・松原おこしなどで、子どもたちは市長と一緒にふるさとの味をおいしくいただきました。

## 大村藩の志士たちが大活躍

2/8

▼郷土史講演会



時代が大きく動いた幕末維新。その時、大村の藩士たちはどのような行動をとったのか。幕末の大村をテーマにした郷土史講演会が市民会館で行われました。講演では佛教大学文学部の青山忠正教授が「薩長同盟と肥前大村」と題し、渡辺清・昇兄弟をはじめとする大村藩士たちのこれまで知られていなかった活躍や坂本龍馬など幕末のヒーローたちとの交流などについて話されました。訪れた約260人の皆さんは興味深く聞き入りながら、時代を駆け抜けた大村の志士たちに思いを馳せていました。

## 市政のできごと

**1/10** 西九州地域の観光戦略を考  
えるシンポジウムを開催



くことを  
確認しま  
した。

「西九州地域の観光戦略を考えるシンポジウム」が佐世保市コミュニティセンターで開催されました。基調講演に続き、パネルディスカッションに登壇した県内外の6市長（大村、長崎、佐世保、西海、嬉野、武雄）は、各市の観光施策報告のあと西九州地域の国際観光戦略について討論し、ハウステンボスなどへのカジノ設置による観光の振興や広域にわたる連携、外国人対応のガイド養成、また、カジノ法制化に即応できる準備の必要性など、西九州地域が一丸となって国際観光の振興に取り組んでい

**1/19** 緊急雇用対策としての臨時  
職員に辞令を交付



の雇用の  
確保や事  
業者の安  
心・安定  
の確保に  
向けた取  
り組みを  
行なって  
います。

市では、厳しい雇用情勢に迅速に対応するため、昨年10月以降に解雇された人を対象に臨時職員を募集し、10人の採用を決定しました。この日、1月19日から勤務する7人に辞令を交付、残る3人は2月2日から勤務し、雇用期間はいずれも2か月間となっています。緊急雇用対策での臨時職員の採用は当市が県下初の取り組みで、市長は、健康に留意し再就職までのステップにして欲しいとあいさつし、辞令を渡しました。市では昨年12月10日、「大村市緊急経済対策本部」を設置し、市民

**1/23** 次世代政策研究グルー  
プが研究成果を報告



地域の活  
性化策に  
ついて研  
究すると  
ともに、  
次世代の  
行政を担  
う政策形  
成能力を  
有する人  
材の育成

市の将来を見据えた地域の活性化策について、若手の市職員が調査・研究する「次世代政策研究事業」の研究成果報告会が市役所で行われました。職員は3つのグループに分かれ、「観光パラ園」「臼島の利活用」「国際村」のテーマで、政策課題の抽出や課題解決など実現可能性の検討も含めて調査・研究を進め、その成果を市長に報告しました。パラ園研究グループは、森園公園を「恋人の聖地」として集客する計画を報告。臼島研究グループは、臼島に周遊歩道や登山道を整備し、海遊びを含めた無人島体験ツアーなどを提案。国際村研究グループは、大村駅前通りを歩行者天国にし、外国人を巻き込んでアジア色あふれる屋台やマーケットなどを設ける提案を行いました。今年度から始まったこの事業は、

**2/6** 重点政策を考える懇話会  
から提言



市民サービスのあり方や財政効率の向上など市勢を活性化させるための具体策について、「大村市の重点政策を考える懇話会」（菊森淳文座長・委員12人）から、平成20年度分について検討結果をまとめ市長に提言がありました。市長の所信表明にある12の重点政策のうち、「環境保全及び大村湾の浄化」、「少子化対策及び子育て支援」、「農林業及び漁業の振興」、「県立図書館及び大学の誘致」の4項目についての提言書を受け取った松本市長は、「今後の政策に活かしていきたい」と答えました。

を目的としており、来年度以降も新たな研究テーマを設定し、継続して実施することになっています。